

後期高齢者医療調剤報酬請求書作成上の主な留意点

No.	記載欄	記載方法
1	綴じ穴	<ul style="list-style-type: none"> 用紙の左上に綴じ穴を開けてください。(※ 左上の隅から右へ12mm、下へ12mmの位置を中心に半径2mmの穴)
2	令和 年 月分	<ul style="list-style-type: none"> 診療年月を記載してください。
3	令和 年 月 日	<ul style="list-style-type: none"> 当該請求書を提出する年月日を記載してください。
4	保険者番号	<ul style="list-style-type: none"> 請求書は、都道府県ごとに1枚とし、請求書の保険者番号欄は、都道府県広域連合番号を記載する。 (兵庫県広域連合番号は「39280003」)
5	薬局コード	<ul style="list-style-type: none"> 当該保険薬局の薬局コード番号(7桁)を記載してください。
6	保険薬局の所在地、名称、開設者氏名	<ul style="list-style-type: none"> 指定申請の際に、近畿厚生局兵庫事務所に届け出た所在地、名称、開設者氏名を記載してください。
7	件数、処方箋受付回数、点数、一部負担金	<ul style="list-style-type: none"> 請求区分の後期高齢一般・低所得欄又は後期高齢7割欄について、「件数」欄は明細書の後期高齢者医療に係る件数の合計を、「処方箋受付回数」欄は明細書の受付回数の合計を、「点数」欄は明細書の「請求」欄の「保険」の項に係る「請求」の項の合計を、「一部負担金」欄は明細書の「一部負担金」欄の「保険」の項に係る「一部負担金」の項の合計を記載してください。 請求区分の公費負担医療欄は、公費負担医療に係る分を公費負担医療制度(空欄に法別番号を記載)ごとに記載してください。「件数」欄は公費負担医療制度ごとに明細書の件数の合計を、「処方箋受付回数」欄は明細書の「受付回数」欄の「公費①」及び「公費②」の項を公費負担医療制度ごとに合計、「点数」欄は明細書の請求欄の「公費①」及び「公費②」の項に記載した点数を公費負担医療制度ごとに合計、「一部負担金額」欄は公費負担医療制度ごとに明細書の「一部負担金額」欄の「公費①」及び「公費②」の項の額(調剤券等に記載されている公費負担医療に係る患者負担額)を合計し、記載してください。 請求区分の公費負担医療欄に記載する欄が足りない場合は、備考欄に記載してください。
8	仕様	<ul style="list-style-type: none"> 用紙はA列4番としてください。

※ レセプト電算処理システムによる請求については、請求書の提出は不要です。ただし、返戻レセプトの再請求を紙レセプトで請求する場合は、請求書の提出が必要です。